

## プレスリリース

2008 年 6 月 9 日

### マース、生物の多種多様性のグローバルな保全活動に協力

ー生物の多種多様性に関わる世界会議でカカオ・サステナビリティにおける専門的知見を発表ー

マース ジャパン リミテッド(本社:東京都目黒区、社長:デビッド・ティーズデイル、以下、マース ジャパン)の親会社であるマース インコーポレイテッド(本社:米国バージニア州、代表者:ポール・マイケル、以下、マース)は、5 月 19 日から 30 日までドイツのボンで開催された生物多様性条約第 9 回締約国会議(COP9)の一環である、「グッド・カンパニーにおける生物の多種多様性(Biodiversity in Good Company)」会議に参加協力し、自社製品および世界的なカカオ市場における持続的なカカオ調達に関するコミットメントを表明しました。

この会議は 2010 年までに生物多様性の損失速度を低減させるという生物多様性条約(Convention on Biological Diversity)の計画目標に基づいて開催されました。欧州連合(EU)の「ビジネスと生物多様性イニシアチブ(Business and Biodiversity Initiative)」においても重要な役割を担っており、生物の多種多様性の保全、生態系を構成する資源の持続可能な利用の推進を目的としています。また、会議では、先進的な遺伝子学によってもたらされる利益についても共有を進めていく旨、出席者全員が同意しました。なお、民間セクターからの出席者は、会議の主旨に合わせて、締約国会議によって招集された企業、団体です。

マースからは、植物科学とエクスターナル・リサーチ部門のグローバル・ディレクターであるハワード・シャピロと、マース スナックフード ドイツのゼネラル・マネージャーでマース ヨーロッパのサステナビリティ担当バイス・プレジデントに就任予定のフィリップ・メッツガーが出席しました。会議では、生物多様性とカカオのサステナビリティに関する知見を、マースの取り組みや成功事例とともに紹介し、「グッド・カンパニーにおける生物多様性」のイニシアチブの推進に協力しました。この他、シャピロは、「ビジネスと生物多様性エキスパート・フォーラム(Business and Biodiversity Expert Forum)」のメンバーとして、事業活動が生物の多種多様性に与えるリスクを最小化するための協議に、またメッツガーは主要メンバーによるハイレベル会議に参加しました。

マースは、これまでも世界各地の政府、地域社会、NGO と協力し、カカオ生産におけるベスト・プラクティスの開発と普及を進めてきました。また、害虫や病害管理や、カカオの品質を向上するための新しい方法の研究にも注力しています。カカオ・サステナビリティにおけるマースの先導的な取り組みは、長期的なカカオ供給の確保のみならず、カカオ栽培地域のコミュニティやエコ・システムの繁栄につながる主体的なアプローチであることを前提に設計されています。

マースが実践する様々な取り組みのうち、生物多様性の保全を率先して行なっているマース カカオサイエンス センターでは、病害に強い品種のカカオを研究し、それをブラジルやその他の栽培地域に紹介することで、より確実なサステナビリティを目指しています。また、干ばつに強く、水や土壌の養分を効率的に吸収できるカカオの品種改良を進めることでカカオ農家を支援しています。さらに、マースのグループ会社であるシーズ オブ チェンジは、有数のオーガニック食品会社として 20 年以上前から認定のオーガニック食品を製造・販売するなど、製品展開の上でも配慮を行なってきました。

シャピロは、生物の多種多様性保全に関するマースの立場について次のようにコメントしています。「マースは、世界有数のカカオのバイヤーの一社として、持続的なカカオ調達にプラスの影響をもたらし、カカオ栽培地域における生物の多種多様性を守っていく責任を担っています」。

またメッツガーは、「マースは長年にわたって環境保全への取り組みを続けてきました。また、カカオのサプライチェーンにおけるサステナビリティの向上支援に対しても多大な投資を行ってきました。これは、マースの事業の成功だけでなく、繊細で貴重な作物であるカカオを守る上でも非常に重要だからです」と述べています。

「グッド・カンパニーにおける生物多様性」会議は、マースにとって、カカオやその他の農産物のサステナビリティの向上に貢献する新たな機会となりました。マースは今後ともサステナビリティに関わる目標の達成を目指して、カカオ関連分野を中心に、世界中の生物多様性を保全するための取り組みを支援していきます。

\*\*\*

お問い合わせ： マース ジャパン リミテッド 広報室 小川 （電話 03-5434-3334）

#### マース ジャパン リミテッドについて

マース ジャパン リミテッドは、米マース インコーポレイテッドの日本法人として1976年に設立、ペットフード事業とスナック菓子事業を展開している。主軸事業のペットフード製品ではペディグリー®、カルカン®ウイカス®、シーザー®、シーバ®、パーフェクトフィット®、グリニーズ™等のトップブランドを持ち、国内市場シェアNo.1。国内従業員数は約250名。

マース ジャパンのホームページは、[www.marsjapan.co.jp](http://www.marsjapan.co.jp)

#### マース インコーポレイテッドについて

マースは、世界でも有数の菓子、食品・飲料、ペットケア&ペットフード事業を展開している非上場企業。創立は1911年、本社は米国バージニア州マクレーン。世界66カ国以上で事業を展開し、その製品は100カ国以上で販売されている。総従業員数は48,000名以上、2007年度の世界における年間総売上高は220億米ドル。M&M'S®、スニッカーズ®、ミルキーウェイ®、マース®、アンクルベンズ®ライスなどのスナック菓子や食品、ペディグリー®やウイカス®を始めとするペットケア&フード製品など、多くの世界的ブランドを持つ。マースのホームページは、[www.mars.com](http://www.mars.com)

#### 生物多様性条約について (Convention on Biological Diversity)

1992年にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された国連環境開発会議(地球サミット)で採択された条約。生物の多様性を「生態系」、「種」、「遺伝子」の3分野から捉え、生物多様性の保全、持続可能な利用、遺伝子学の活用がもたらす利益の公正な配分を目的としている。日本は1992年に署名、翌年加盟(受諾)。2008年5月末現在で190カ国に加え欧州共同体(EC)が加盟している。条約事務局はカナダのモントリオール。<http://www.cbd.int/>